# ☑ 「指数関数×三角関数」の積分

※ 準公式 a,b を 0 でない定数とする.

#### -【例題 1.23】

上の準公式(1)を導出せよ.

Ø1

問題 1.26 上の準公式 (2) を導出せよ.

問 上の準公式(1),(2)について、右辺を微分し、左辺の被積分関数と一致することを確かめよ。

※ 準公式(1),(2)の別導出は、問題解答[Math-A2\_kotae.pdf]を参照。

問題1.27 次の不定積分を求めよ.

$$(1) \int e^{2x} \sin 3x \, dx$$

$$(2) \int e^{3x} \cos 4x \, dx$$

## ☑ 漸化式の利用

## -【例題 1.24】

n を 0 以上の整数とし, $I_n=\int_0^{\frac{\pi}{2}}\sin^n x\,dx$  とする.このとき,次の (1),(2) が成り立つことをそれぞれ証明せよ.

(1)  $n \geqslant 2 \mathcal{O} \succeq \mathfrak{F}$ ,

$$I_n = \begin{cases} \frac{n-1}{n} \cdot \frac{n-3}{n-2} \cdot \dots \cdot \frac{3}{4} \cdot \frac{1}{2} \cdot \frac{\pi}{2} & (n \text{ が偶数のとき}) \\ \frac{n-1}{n} \cdot \frac{n-3}{n-2} \cdot \dots \cdot \frac{4}{5} \cdot \frac{2}{3} & (n \text{ が奇数のとき}) \end{cases}$$

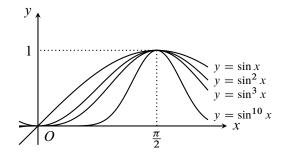
(2) 
$$\int_0^{\frac{\pi}{2}} \cos^n x \, dx = I_n \, .$$

L

$$\frac{n-1}{n} \cdot \frac{n-3}{n-2} \cdot \dots \cdot \frac{3}{4} \cdot \frac{1}{2} \cdot \frac{\pi}{2} = \frac{(n-1)!!}{n!!} \cdot \frac{\pi}{2} = \frac{n\frac{C_n}{2}}{2^n} \cdot \frac{\pi}{2}$$
$$\frac{n-1}{n} \cdot \frac{n-3}{n-2} \cdot \dots \cdot \frac{4}{5} \cdot \frac{2}{3} = \frac{(n-1)!!}{n!!} = \frac{1}{n} \cdot \frac{2^{n-1}}{n-1\frac{C_{n-1}}{2}}$$

とも書ける。ただし、n!! は二重階乗 (double factorial) 、 ${}_n\mathbf{C}_r$  はn 個からr 個取る組合せの総数(二項係数)  $\frac{n!}{r!(n-r!)}$  である。 問 このことを確認せよ.

**※** 



問題 1.28 次の定積分の値を求めよ.

(1) 
$$\int_0^{\frac{\pi}{2}} \sin^5 x \, dx$$

$$(2) \quad \int_0^{\frac{\pi}{2}} \cos^7 x \, dx$$

(2) 
$$\int_0^{\frac{\pi}{2}} \cos^7 x \, dx$$
 (3) 
$$\int_0^{\frac{\pi}{2}} \sin^4 x \cos^2 x \, dx$$

 $I_0, I_1, I_2$  の値を(上の例題の結果を用いずに)求めよ.

※ 
$$I_n = \int_0^{\frac{\pi}{2}} \sin^n x \, dx = \int_0^{\frac{\pi}{2}} \cos^n x \, dx$$
 は「Wallis 積分」と呼ばれる.

Wallis 積分から導かれる Wallis の公式や、それを発展させた Stirling の公式:

十分大きな
$$n$$
に対して、 $n! \sim \sqrt{2\pi n} \left(\frac{n}{e}\right)^n$ ,

は、離散量を連続量で近似する(見積もる)ために、統計分野などでしばしば用いられる.

## さまざまな積分計算に関しては,

池谷哲、数 III の積分計算が面白いほどわかる本、KADOKAWA (2016)

が、良い本だったのですが......いまは絶版になってしまいました。